

*Ube city
sports
promotion
plan*

宇部市スポーツ推進計画 後期計画

2018～2021



宇部市 平成 30 年 4 月

目次

第1章 計画の改定にあたって

- 1 計画改定の趣旨 . . . 1
- 2 計画の位置づけ . . . 1
- 3 計画期間 . . . 2

第2章 現状と課題

- 1 現状 . . . 3
- 2 課題の整理 . . . 13

第3章 計画の基本方針

- 1 基本理念 . . . 15
- 2 基本目標 . . . 15
- 3 基本方針と施策体系 . . . 16

第4章 施策の展開

- 1 具体的施策 . . . 17
- 2 計画の推進にあたって . . . 29

表紙写真（上）：レノファ山口による運動教室

（下）：車いすバスケットボール体験会

第1章 計画の改定にあたって

1 計画改定の趣旨

本市では、競技スポーツに限らず、市民の「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」、それぞれの体力や年齢、興味、目的などに応じて、身近な地域でスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を目指し、2011年（平成23年）に「宇部市スポーツ振興計画」（計画期間：2011年度～2021年度）を策定しました。

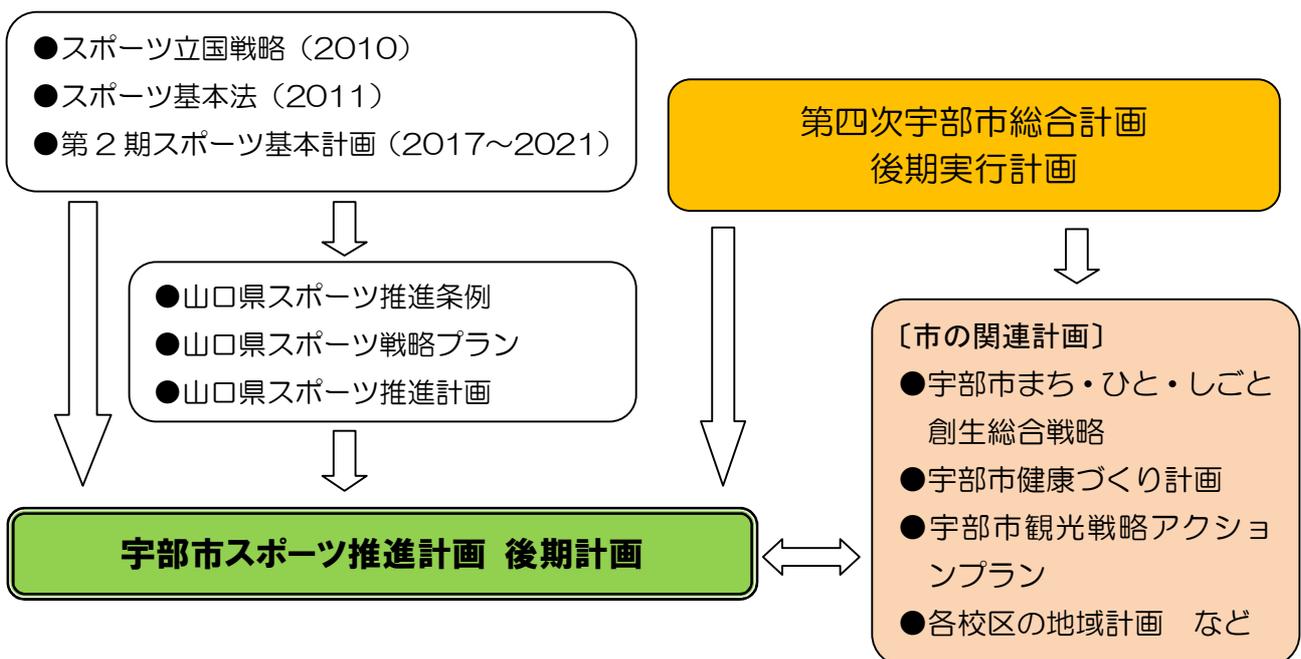
その後、スポーツ基本法において、各自治体における「地方スポーツ推進計画の策定」が規定されたことから、2014年（平成26年）に「宇部市スポーツ推進計画」と計画名称を変更するとともに、2014年10月に設立された宇部市スポーツコミッションをはじめ、市民団体や地域等との協働により、全市的なスポーツ振興に取り組んでいるところです。

このたび、中期計画の計画期間が2017年度（平成29年度）で終了することから、次の4年間を見据えた「宇部市スポーツ推進計画後期計画（以下、「本計画」と表記。）」を策定することとします。

2 計画の位置づけ

本計画は「スポーツ基本法第10条第1項」に基づき、本市の実情に即したスポーツ推進の基本となる計画として策定するものです。

市の上位計画である「第四次宇部市総合計画」を基本とし、「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をはじめとする関連計画との整合を図るとともに、国や県の法令、計画等の趣旨を踏まえ、本市のスポーツ振興の理念や方向性、取組内容について示すこととしています。



3 計画期間

本計画の計画期間は、2018年度から2021年度までの4年間とします。

なお、この計画に掲げた施策や取組については、毎年度検証を行うとともに、その他の計画等の進捗状況や社会経済情勢等の変化も勘案し、必要に応じて見直しを行うこととします。

宇部市スポーツ推進計画(2011年度～2021年度)		
前期 2011年度～2013年度	中期 2014年度～2017年度	後期 2018年度～2021年度



第2章 現状と課題

1 現状

本計画の策定にあたっては、中期計画の検証や近年の社会環境の変化を踏まえるとともに、「市民アンケート調査」及び「市民ワークショップ」の結果を参考としました。

(1) 国の動向

2015年10月にスポーツ庁が設置され、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現を最大の使命としています。

2017年3月に「第2期スポーツ基本計画」を策定し、次の4つの指針を定めています。



「人生」が変わる：スポーツで人生を健康で生き生きとしたものにできる

「社会」を変える：共生社会、健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる

「世界」とつながる：多様性を尊重する世界、持続可能で逆境に強い世界、クリーンでフェアな世界に貢献できる

「未来」を創る：2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、レガシーとして「一億総スポーツ社会」を実現する

(2) 東京オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の開催

大規模な国際競技大会の開催は、スポーツへの意識・関心を高めるだけでなく、世界のトップアスリートを間近で見る絶好の機会であり、国際交流の促進にもつながるものです。本市は現在、スペインのホストタウンとして登録され、スポーツ、文化、教育などの分野において交流を進めていくこととしています。

なお、本計画期間中に開催が予定されている大規模な国際競技大会は次のとおりです。

時 期	開催月	競 技 大 会	場 所
2018 年	9 月～10 月	女子バレーボール世界選手権 2018	札幌市ほか
2019 年	7 月～ 8 月	第 16 回世界女子ソフトボール選手権大会	千葉県
	8 月	世界柔道選手権大会	東京都
	9 月～11 月	ラグビーワールドカップ 2019	全国 12 都市
	11 月～12 月	2019 年女子ハンドボール世界選手権大会	熊本県
2020 年	3 月	2019 世界フィギュアスケート選手権大会	さいたま市
	7 月～9 月	東京オリンピック・パラリンピック競技大会	東京都ほか
2021 年	5 月	ワールドマスターズゲームズ 2021 関西	関西圏
	8 月～9 月	世界水泳選手権大会	福岡市

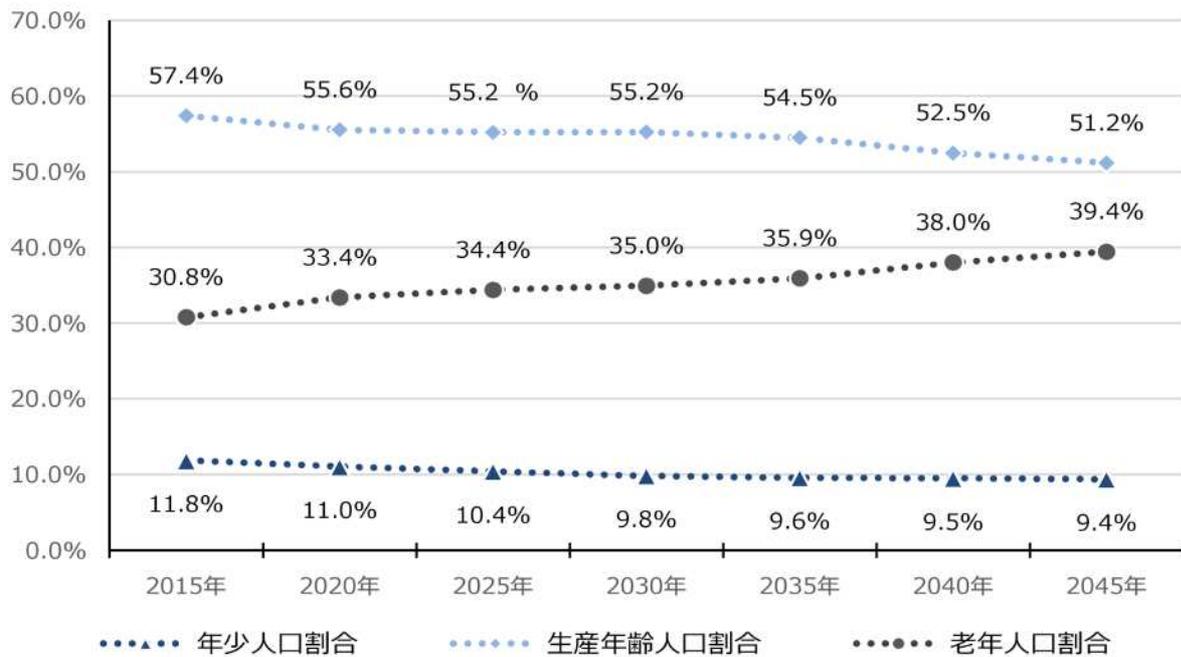
(3) 人口減少・少子高齢社会の到来

本市の人口は、現在の人口動向がこのまま推移する場合、2045年には約12万人になると推計(国立社会保障・人口問題研究所)されており、2015年に対する減少率は28.2%となっています。



- ・人口減少の影響や晩婚化に伴い、本市の出生数が減少傾向にあることから、人口に占める年少人口（0歳～14歳）の割合は2030年には10%を割り込む見込みです。
- ・一方で、本市の高齢化率は、2018年1月時点で32.0%であり、2045年には40%近くに達する見込みです。

〔図2 年齢構成割合の推移（国立社会保障・人口問題研究所準拠推計）〕



〔国立社会保障・人口問題研究所準拠推計〕

(4) 本市のスポーツ活動の状況

① スポーツ施設

- ・本市が所有する主なスポーツ施設は表1のとおりであり、指定管理者により運営を行っています。
- ・市内の民間スポーツ施設は、フィットネスジムやスイミングスクール、ゴルフ場（練習場）、ボウリング場などが開設されており、一部の施設ではチャレンジデープログラムの実施などで一般開放しています。

[表1 主なスポーツ施設と利用状況(2016年度)]

施設名称	利用者数	施設名称	利用者数
【体育館】		【陸上競技場】	
西部体育館	54,677	恩田運動公園陸上競技場	14,166
俵田翁記念体育館	71,224		
楠若者センター	11,301	【弓道場】	
		中央公園弓道場 ※	12,919
【多目的グラウンド】			
東岐波体育広場	7,370	【アーチェリー場】	
常盤公園多目的広場	16,119	中央公園アーチェリー場 ※	1,113
東部体育広場	41,252		
厚南体育広場 ※	7,271	【サッカー場】	
黒石体育広場	12,095	常盤公園サッカー場 ※	23,435
楠体育広場	1,706		
恩田運動公園補助競技場	15,063	【武道場】	
		武道館 ※	32,153
【テニスコート】			
楠テニスコート	4,463	【スポーツ・レクリエーション施設】	
中央公園テニスコート ※	102,932	サンライフ宇部	44,570
黒石体育広場テニスコート	10,390	パルセンター宇部 ※	55,228
【野球場】			
恩田運動公園野球場 ※	86,775	【民間スポーツ施設】 7施設	-
		【民間ダンス関連】 7施設	-
【プール】		【民間フィットネス関連】 9施設	-
恩田運動公園水泳プール	31,963		

※印: 公共施設のうち、開設(更新)後 30年以内のもの

② 主な地域スポーツ団体等

地域で活動する主なスポーツ推進団体は次のとおりであり、宇部市スポーツコミッションの構成団体です。（31 ページ参照）	
公益財団法人 宇部市体育協会	市内のスポーツ競技団体を統括し、市のスポーツ振興を図る組織。（31 団体、登録人員 13,504 人で組織。）
宇部市スポーツ推進委員協議会	スポーツ基本法で定められた「スポーツ推進のための事業の実施にかかる連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う」者として市が委嘱。2018 年 2 月現在、53 人の委員により協議会を構成し、地域でのスポーツ・レクリエーションを推進。
総合型地域スポーツクラブ	身近なところでスポーツを気軽に楽しめる、地域におけるスポーツ推進拠点。市内では 2018 年 2 月現在、3 団体（※）が活動しており、2018 年度には新たに 1 団体が設立予定。 ※（特非）コミュニティスポーツくすのき、（特非）おもしろファーム、（特非）Goppo ええぞなクラブ

③ 中期計画の取組成果

中期計画では、「スポーツを楽しむ元気なひとづくり」と「スポーツによる元気なまちづくり」をキーワードに宇部市スポーツコミッションと連携しながら、重点プロジェクトを中心に各施策に取り組んできました。

中期計画では、基本目標を「週 1 回以上スポーツを行う成人の割合：60%以上」と掲げており、計画最終年度の 2017 年度は 74.6%と、中期計画がスタートした 2014 年（31%）と比べると 43.6 ポイント上昇しており、市民の継続的な運動習慣が定着してきたといえます。

④ 小・中学生の体力について(2016 年度)

本市の小学 5 年生、中学 2 年生を対象とした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（全国体力テスト）によると、小学生男子及び中学生においては、全国、県平均に比べて「運動が好きな子ども」や「体力に自信がある子ども」、「運動を大切と考える子ども」が概ね高い傾向にあります。小学生女子については、全ての項目において平均値を下回る結果となっています。

また、実技については、小学生は男子の持久力(20mシャトルラン)を除き、すべて全国値を下回っており、特に男女とも、跳躍力(立ち幅とび)の得点が低い結果となっています。

中学生については男女ともに筋力(握力)、敏捷性(反復横とび)、持久力(20mシャトルラン)は全国、県に比べて高得点となっていますが、腹筋(上体起こし)、柔軟性(長座体前屈)は全国値に達していません。

(5) 市民アンケート調査

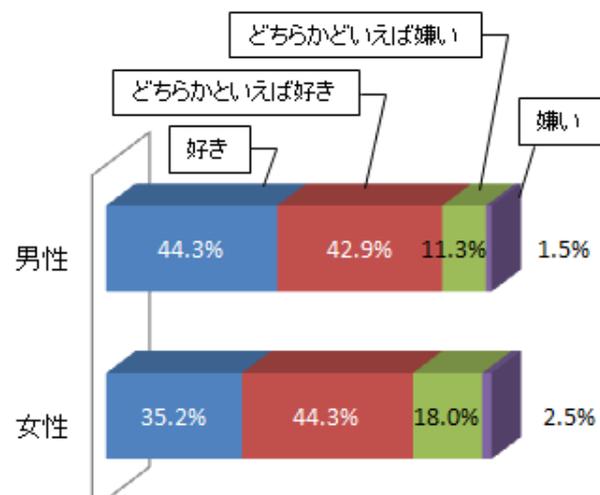
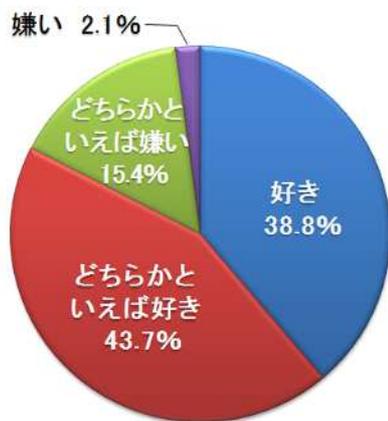
① 実施時期：2017年9月～10月

② 回答者について：小学校区の各年齢層、イベント等参加者（ふるさと元気懇談会、100周年市民委員会など）合計：2,102人

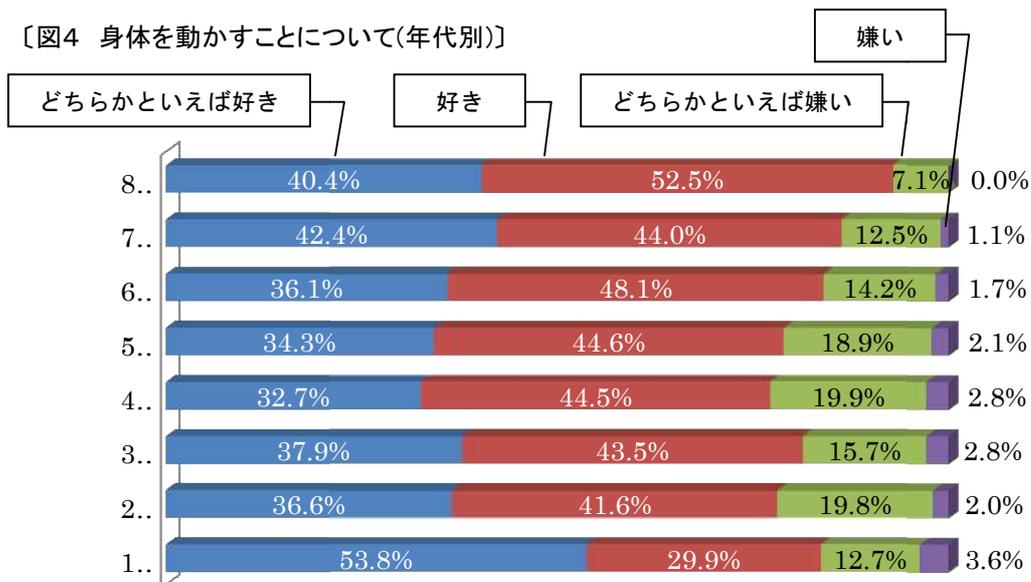
Q1 身体を動かすことについて

- ・身体を動かすことについては、82.5%が「好き」、「どちらかといえば好き」と回答しています。男女別でみると男性の方が「身体を動かすことが好き」（87.2%）という回答が多くなっています。
- ・年代別でみると、20歳代と40歳代から50歳代で「どちらかといえば嫌い」、「嫌い」という割合が他の年代に比べて多くなっています。

〔図3 身体を動かすことについて〕



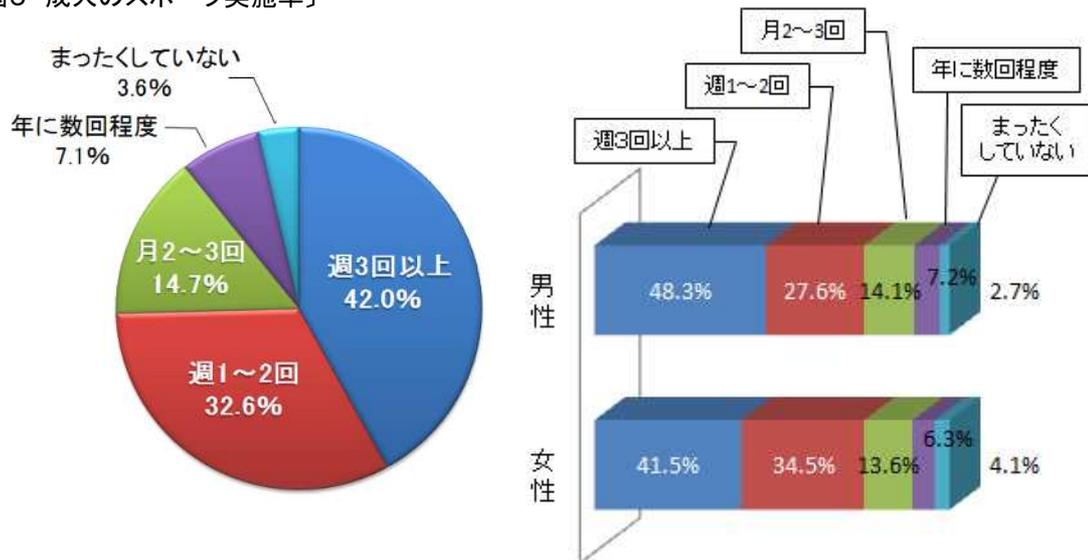
〔図4 身体を動かすことについて(年代別)〕



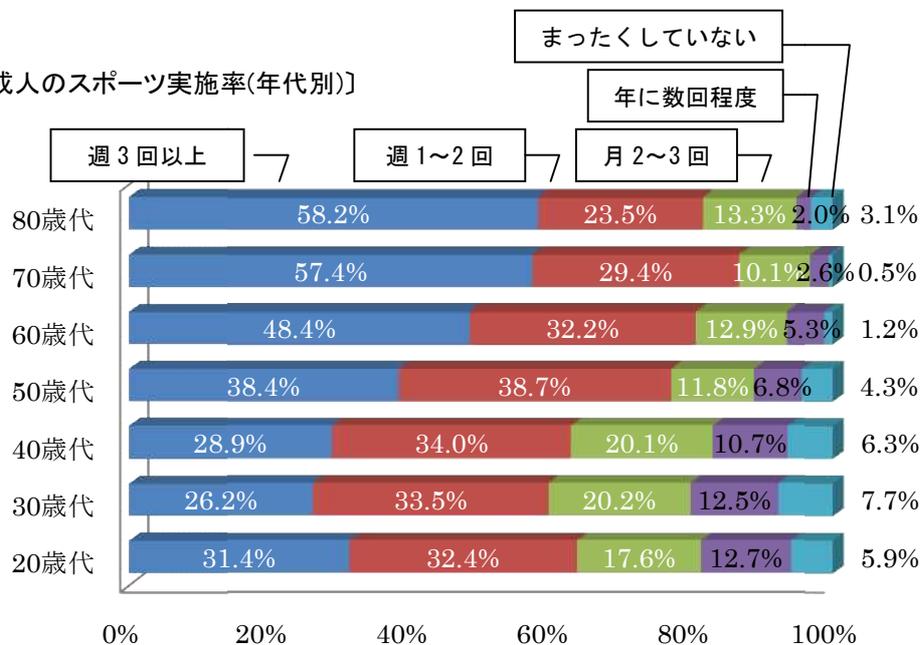
Q2 運動の頻度(スポーツ実施率)について

- ・運動の頻度については、週1回以上スポーツを行う成人の割合は74.6%で、中期計画の目標である「60%以上」は達成しています。
- ・年代別では、20歳～40歳代で運動頻度が少ない傾向がありますが、50歳～70歳代では年代が高くなるにつれて実施率が上がる傾向があり、70歳代が最も高くなっています。

〔図5 成人のスポーツ実施率〕



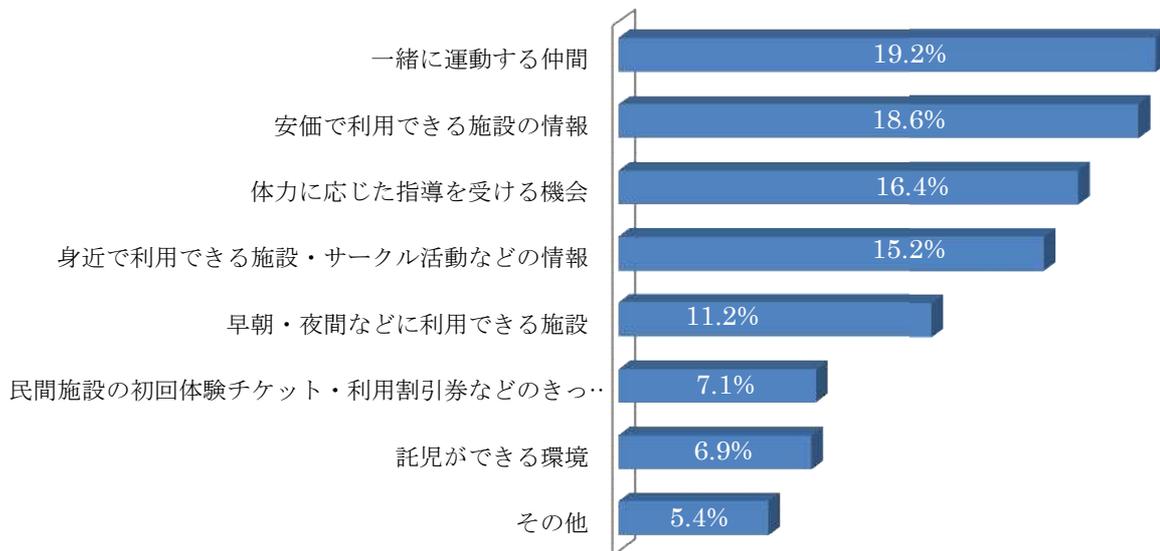
〔図6 成人のスポーツ実施率(年代別)〕



Q3 身体を動かすために必要なものについて

身体を動かしていない人にとって身体を動かすために必要なものとしては、「一緒に運動する仲間（19.2%）」が最も多く、続いて、「安価に利用できる施設の情報（18.6%）」、「体力に応じた指導を受ける機会（16.4%）」となっています。

〔図7 身体を動かしていない人が身体を動かすために必要と考えるもの〕



Q4 この1年間に出場や観戦したスポーツイベント

- ・ウオーキングイベントへの参加が最も多く、市民が普段取り組んでいるスポーツと合致しています。
- ・1年以内にプロスポーツの試合を観戦した人は15.9%となっています。

〔図8 この1年間に出場や観戦したイベント〕



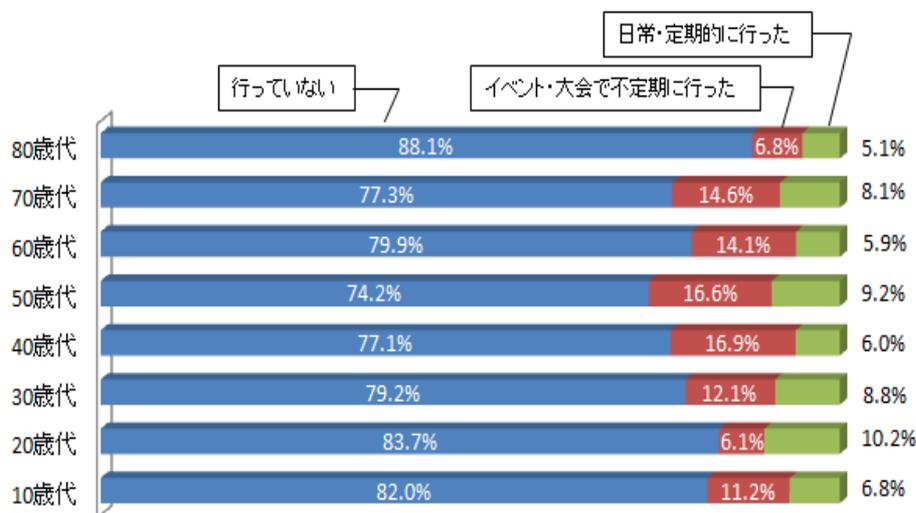
【参考：市民が普段取り組んでいるスポーツ】

- 1位 ウオーキング
- 2位 自転車
- 3位 体操・ストレッチ
- 4位 ジョギング・マラソン
- 5位 バレーボール(ソフトバレーボール)
- 6位 筋肉トレーニング
- 7位 各種ダンス
- 8位 ゴルフ

Q5 この1年間に行ったスポーツの指導や大会運営などのボランティア活動

- ・ボランティア活動等への参加については、2割に達していない状況です。
- ・年代別にみると50歳代の活動率が最も高く、次いで40歳代、70歳代が高くなっています。

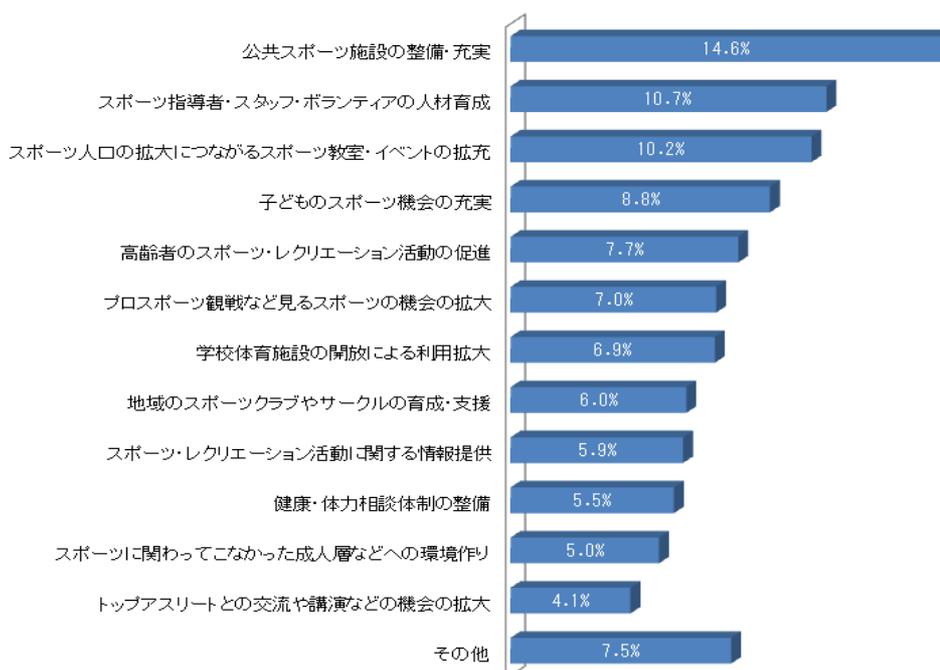
〔図9 この1年間に行ったスポーツの指導や大会運営などのボランティア活動(年代別)〕



Q6 本市のスポーツ振興に今後必要な取組

本市のスポーツ振興に向け、今後必要な取組としては、「公共スポーツ施設の整備・充実（14.6%）」という回答が最も多く、続いて「スポーツ指導者・スタッフ・ボランティアの人材育成（10.7%）」、「スポーツ人口の拡大につながるスポーツ教室・イベントの拡充（10.2%）」となっています。

〔図10 本市のスポーツ振興に今後必要な取組〕



(6) 市民ワークショップ

「今後の宇部市に必要なスポーツ環境」をテーマに市民ワークショップを行いました。

[第1回]

- 日時：2017年10月22日 9時30分～12時（参加者15人）
- 内容：「子ども」「若者」「労働者」「女性」「高齢者」「障害者」にとって、「今後の宇部市に必要なスポーツ環境」について、それぞれの意見を出し合いました。

[第2回]

- 日時：2017年11月12日 9時30分～12時（参加者15人）
- 内容：第1回の内容を踏まえ、「市内のスポーツ参画人口をさらに1万人増やすために必要なスポーツ環境」をテーマにして、具体的な取組を考えました。

■結果

**市内のスポーツ
参画人口を
さらに1万人
増やすための
取組**

■ 多世代が参加できるウォーキングイベントの開催

- ・全世代が親しめるスポーツイベントとして、ウォーキング大会を定期的開催
- ・参加しやすいようなコースづくりを検討（ファミリー、高齢者、障害者コース等）

■ 指導者の発掘・成長の支援

- ・地域のスポーツ好きな人への学習の場の提供によるリーダーの育成
- ・ボランティア指導者などへの知識習得を目的とした定期的な講習会等の開催
- ・ボランティアなどのスポーツを支える人にも「はつらつポイント」等のインセンティブを付与

■ 基礎運動の促進

- ・基礎的な運動を学ぶことによる、スポーツ好きな人の増加
- ・どの世代でも人気のあるウォーキングの普及
- ・生涯で最も運動能力が向上する時期と言われている「ゴールデンエイジ（3歳～14歳）」を対象に運動指導し、スポーツ好きな子どもを増やす

2 課題の整理

本市の現状を踏まえ、今後、スポーツの振興を図る上での課題を整理します。

(1) 生涯にわたるスポーツ参加

- 市全体の人口減少・少子化の進展により、スポーツイベント参加者の減少をはじめ、スポーツ少年団や部活動などの衰退が予想されます。
- 成人のスポーツ実施率は向上しているものの、働き世代のスポーツ実施率は他の世代に比べて低くなっています。
- ボランティア経験を持つ市民が少ないことから、今後、指導者不足やイベント運営に支障が出るのが予想されます。
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツへの関心を高め、世代や障害の有無を問わず、スポーツを「する・観る・支える」の観点から、それぞれへの参画を促す取組が必要です。
- 子どもの体力向上のため、「運動・スポーツの重要性」についての意識を高め、幼少期からのスポーツへの参加を促進するとともに、体力面においても、「全国体力テスト」の各項目が全国値を上回るよう、学校生活の中での継続的な取組が必要です。

(2) スポーツ施設の充実

- 本市のスポーツ振興に向けて、市民が求めるものとして、「公共スポーツ施設の整備・充実」が最も多い一方、市内の公共スポーツ施設は老朽化が進んでいます。
- 今後は、厳しい財政状況も考慮しながら、適切で効率的な施設整備を実施するとともに、学校施設の開放や民間施設の活用、近隣市との連携による施設の共用などについても検討していく必要があります。

(3) スポーツへの興味・関心

- 運動が好きではない人、運動を大切と思わない人、スポーツの未実施者などに向けて、スポーツの大切さ・楽しさを体感してもらえるよう、身近な施設・サークル活動等の情報提供や、体験イベントなどスポーツに親しむきっかけづくりを積極的に行うことが必要です。
- 子どもたちにトップアスリートのプレーを間近で観たり、交流する機会を創出するなど、スポーツへの関心・興味を高める取組を実施することが重要です。

(4) スポーツを通じた交流・ふれあいの創出

○身体を動かすために必要と考えるものとして、「一緒に運動する仲間」や「体力に応じた指導を受ける機会」などの回答が多いことや、本市のスポーツ振興に必要な取組として、「スポーツを支える人材の育成」や「スポーツ教室・イベントの拡充」を求める声が多いことから、スポーツを通じて市民が交流する機会を創出していく必要があります。

○本市の地域資源を活用したスポーツイベント等を実施することで、市外の人との交流・ふれあいを促進していく必要があります。

(5) 魅力あるスポーツ事業の創出

○オリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートとの交流や若い世代の参加につながる魅力あるスポーツイベントを実施し、スポーツ参画人口の拡大を図ることが重要です。

○市内の多様な地域資源を生かしたスポーツイベントや大規模な競技大会の開催のほか、食やアートなどを組み合わせたイベントなど、多彩なスポーツツーリズムを展開することにより、地域の活性化につなげていく必要があります。



写真左：レノファ山口による運動教室



写真右：オリンピック招致によるバスケットキッズフェスティバル

第3章 計画の基本方針

1 基本理念

スポーツを楽しむ 元気なひとの元気なまち・宇部市

宇部市スポーツ推進計画では、年齢や性別、障害の有無等に関わらず、全ての市民が、自分の体力、興味、目的に応じてスポーツに親しむとともに、スポーツを通して活力ある地域づくり・まちづくりや、子どもたちの健全育成を図ることで、一人ひとりが元気になり、地域が元気になり、そして宇部市全体が元気になることを目指します。

2 基本目標

- スポーツ活動を通じて、“ひと”と“まち”を活力に満ち、豊かで元気にします。
- 基本理念の実現に向けて、市民の「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができるよう各種施策を展開していきます。

週1回以上スポーツを行う成人の割合

74.6%(2017年度)



80%以上(2021年度)

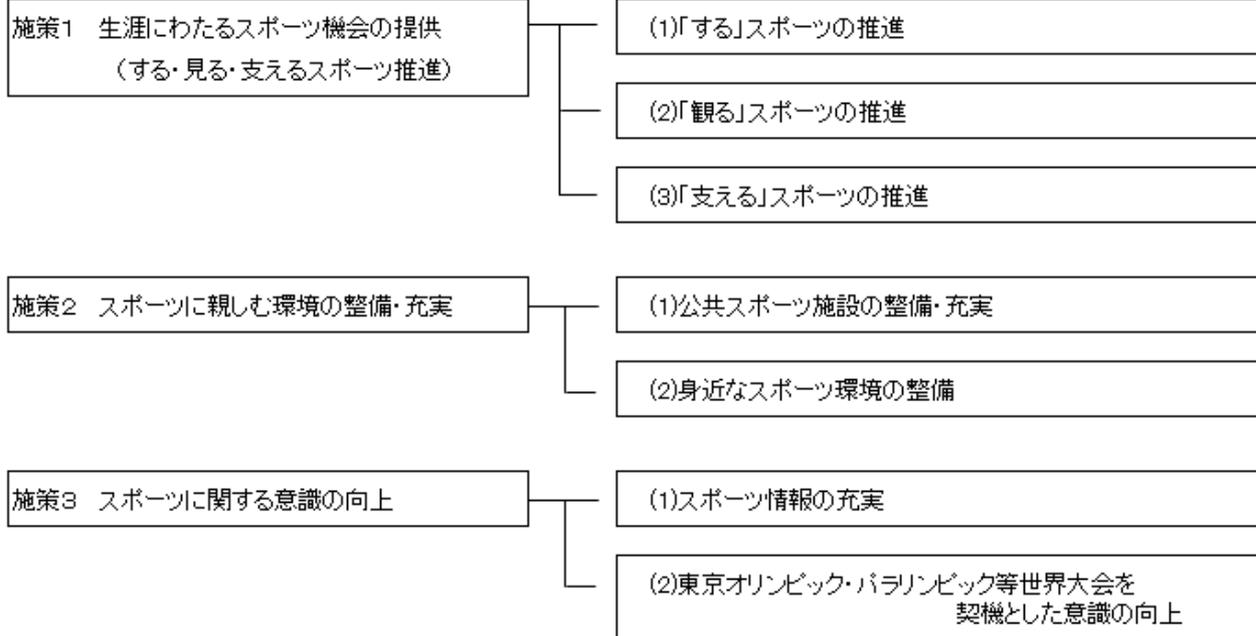
※目標指標に掲げる「スポーツ」とは、競技スポーツだけではなく、体力増進や健康づくりに寄与する軽運動なども含みます。

3 基本方針と施策体系

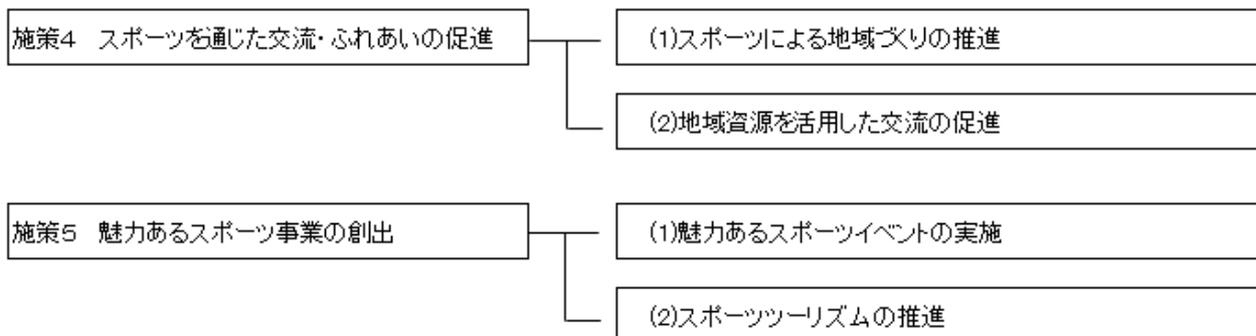
宇部市スポーツ推進計画では、スポーツ施策の方向性をより明確化するため、2つの基本方針を定め、それぞれの方針に沿った施策を進めていくこととしています。

基本方針を実現するための施策については、中期計画の検証等を踏まえ、統合整理を行い、以下のとおりとしました。

基本方針1 スポーツを楽しむ「元気なひと」づくり



基本方針2 スポーツによる「元気なまち」づくり



第4章 施策の展開

1 具体的施策

基本方針1 スポーツを楽しむ「元気なひと」づくり

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツをすることで心身ともに「元気なひと」を育てていくため、①生涯にわたるスポーツ機会の提供（する・観る・支えるスポーツ推進）、②スポーツ施設の整備・充実、③スポーツに関する意識の向上の3つの施策を定め、各種事業を推進していきます。

施策① 生涯にわたるスポーツ機会の提供(する・観る・支えるスポーツ推進)

[これまでの取組]

- 住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」やスポーツコミッションフェスタ、ウォーキングイベントなどへの参加を通じ、市民の運動習慣の定着を図るとともに、子どもから高齢者まで幅広い対象者に合わせた運動プログラムの提供を行っています。
- スポーツの「観る」楽しさや魅力を伝えるため、レノファ山口観戦ツアーやオリンピック・パラリンピック招致事業などを実施しています。
- スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、部活動指導者など、スポーツを「支える」人材の確保・育成、活躍の場の創出に取り組んでいます。

[今後の方向性]

- 年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが気軽に親しむことができる参加型イベントや、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を通じて、継続的にスポーツに取り組むきっかけづくりや仲間づくり、多世代交流の場を提供します。
- 幼少期からのスポーツ参加を促進し、児童・生徒の体力についての課題克服につなげていくとともに、希望するスポーツが身近で実施できる環境を整備します。
- 東京オリンピック・パラリンピックを控え、スポーツへの興味・関心が高まる中、アスリートの育成など競技力の向上を図っていきます。
- スポーツを「観る」、「支える」という点から、それぞれの楽しみ方や関わり方を啓発することで生涯にわたる市民のスポーツ参画を促進していきます。

施策①ーア 「する」スポーツの推進

●主な取組

- ▶ チャレンジデーをはじめ、市民が気軽にスポーツに親しむ参加型のイベントを実施します。
- ▶ 国の提唱する「FUN + WALK PROJECT」に賛同し、「歩く」を入口とした働き世代のスポーツ参加を推進します。
- ▶ 子どものスポーツ活動を推進するため、年齢や成長段階に応じたプログラムや、体験教室等を実施するとともに、小中学生を対象とした「全国体力テスト」において、全ての実技項目で全国レベルに到達できるよう取組を進めていきます。
- ▶ 高齢者のスポーツ機会として、やまぐち元気アップ体操などを活用した仲間と一緒に取り組める健康増進・体づくりのプログラムや、介護予防につながる運動プログラムなどを積極的に推進します。
- ▶ 女性が気軽にスポーツに参加できる機会を増やしていくため、託児付のイベントなどを積極的に開催します。
- ▶ 障害者スポーツの普及・啓発のため、だれもが参加できる障害者スポーツ体験イベントの開催を支援します。
- ▶ 年齢や障害の有無に関係なく、地域でスポーツを楽しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」の設立や活動を支援します。
- ▶ アスリートを育成するためのプログラム開発など、競技力の向上を図るとともに、全国大会・国際競技大会等に出場する選手への支援を行います。

	項 目	現状値	目標値 (2021 年度)
活動指標	チャレンジデー参加者数	76,605 人	100,000 人
	スポーツ大会への障害者参加者数	680 人	720 人
	総合型地域スポーツクラブ数	3 団体	5 団体

FUN+WALK PROJECT 《スポーツ庁ホームページより》

FUN+WALK PROJECTとは？

FUN+WALK PROJECTは、
歩くことをもっと楽しく、楽しいことをもっと健康的なものにする
スポーツ庁の官民連携プロジェクトです。
「歩く」を入口に、国民の健康増進を目指しています。

本市では・・・

20代から40代の働き世代をメインターゲットとし、ICTの活用などによる「歩く」ことの習慣化を目指し、健康増進・生活習慣病などの疾病予防につなげていきます。

施策①ーイ 「観る」スポーツの推進

●主な取組

- レノファ山口応援ツアーの実施など、スタジアム等での直接観戦を支援するとともに、プロスポーツをはじめ、トップレベルの選手を招致したスポーツイベントの誘致に取り組みます。
- オリンピアン・パラリンピアン等トップアスリートとの交流事業を実施します。

	項 目	現状値	目標値 (2021 年度)
活動指標	1年以内にスポーツの試合等を直接観戦した人の割合	—	50%
	オリンピック・パラリンピアン等交流事業数	年間 21 件	年間 40 件

施策①ーウ 「支える」スポーツの推進

●主な取組

- 年齢や障害の有無など、多様なニーズに対応できる、スポーツ・レクリエーション指導者を確保・育成を図ります。
- 部活動指導員等の指導者の確保に努め、より多くの生徒が取り組める部活動の推進を図るとともに、競技力向上とスポーツ傷害防止等の安全面での向上を目指します。
- スポーツボランティアや健康まちづくりサポーター等の活躍の場の創出と活動への支援を行います。
- スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブによる地域のスポーツ活動を推進するとともに、プレイリーダーによる公園での活動を推進します。

	項 目	現状値	目標値 (2021 年度)
活動指標	宇部市スポーツコミッション 人財バンク登録人数	17 人	30 人
	スポーツボランティア登録人数	団体 9 個人 71	団体 13 個人 80

施策② スポーツに親しむ環境の整備・充実

【これまでの取組】

- 市が所有する体育施設は指定管理者制度の導入により、効率的な管理運営とサービスの向上に努めています。
- 施設整備については、宇部市障害者ケア協議会スポーツ部会と連携し、バリアフリー改修を年次的・計画的に行うなど、だれもが使いやすい施設に向けて整備を進めています。
- 宇部市スポーツコミッションとの連携により、民間施設を活用したスポーツプログラムの提供が実施されています。
- スポーツ施設以外では、市内の4つの山（荒滝山、平原岳、霜降山、日の山）と、4つのダム（厚東川ダム〈小野湖〉、今富ダム、丸山ダム、真締川ダム〈未来湖〉）など、本市の豊かな自然環境を新たな健康づくりの拠点として活用したウォーキングイベントなどが開催されています。

【今後の方向性】

- スポーツの実施率を向上させるためには、身近な場所でスポーツできる環境づくりが重要です。このため、公園やふれあいセンターの活用に加え、市内の学校体育施設の開放をさらに促進するなど、市民にとって身近なスポーツ環境の確保と併せ、利用しやすい施設となるための条件整備に取り組めます。
- 民間施設や近隣自治体施設の活用を促進するとともに、必要に応じ、移動手段の確保等について検討を行います。

施策②ーア 公共スポーツ施設の整備・充実

●主な取組

- 恩田運動公園をスポーツの振興と市民の憩いの場として、新たな魅力とにぎわいを持つエリアにするため「恩田スポーツパーク構想」を策定し、計画的な整備を進めます。
- 市内の公共体育施設をバリアフリーの観点等から年次的に整備を進めていくとともに、利用者のニーズに応じた、利便性の高い施設に向けて改善を図ります。
- 指定管理者による効率的な施設管理・運営・サービスの向上を進めるとともに、ICT等を積極的に活用することによって、コストの低減や利用者の増加を図ります。

	項 目	現状値	目標値（2021年度）
活動指標	公共体育施設利用者満足度	76.4% (2016年度)	80%以上
	恩田スポーツパーク構想の推進	-	計画的整備の実施

恩田スポーツパーク構想

恩田運動公園は約 12 万平方メートルの敷地に、陸上競技場やプール、野球場等のスポーツ施設を有する本市のスポーツの拠点です。

しかし、昭和 15 年に開設後、80 年近くが経過し、施設の老朽化や園内樹木による舗装の悪化などの課題が生じています。

これからも本市のスポーツ推進や市民の憩いの場として、賑わいを創出していくため、今後の整備指針として「恩田スポーツパーク構想」を策定し、計画的な整備を実施します。

また、整備にあたっては、公民連携（PPP）手法の活用等も含め、幅広く検討していきます。



陸上競技場（本部席は昭和 38 年に開催された山口国体に合わせ建設された）



大きく育った樹木の根が張出し、支障となっている園路



恩田運動公園の現在の配置図

施設建設年度一覧

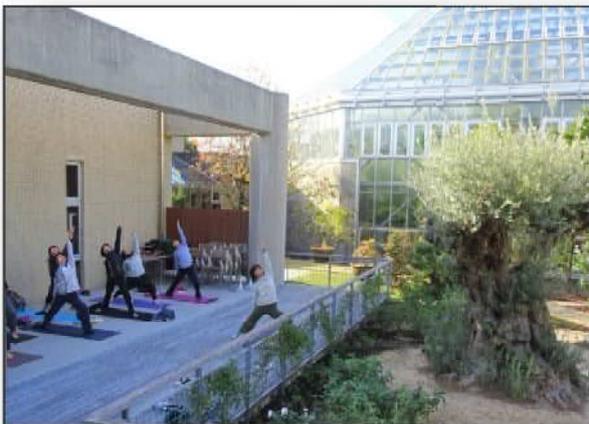
昭和 15 年	陸上競技場
昭和 33 年	水泳プール
昭和 34 年	俵田翁記念体育館
昭和 45 年	サブグラウンド
平成 10 年	野球場

施策②ーイ 身近なスポーツ環境の整備

●主な取組

- 市民の身近なスポーツ施設として**学校体育施設の開放**を進めるとともに、余裕教室等の開放可能施設の拡大を図ります。
- 公園やふれあいセンター等の公共施設をスポーツ・健康づくりの場として活用するとともに、民間施設の活用も促進します。
- 街区公園等を**プレイパーク**として整備し、**プレイリーダー**を配置します。
- 4つの山・4つのダムやアクトビレッジおのなど、緑豊かな自然環境を生かしたスポーツ機会の提供を促進します。
- 山口県央連携都市圏域のスポーツ施設の共同利用や、イベントでの相互交流を促進します。

	項 目	現状値	目標値 (2021 年度)
活動指標	学校体育施設開放の利用人数 (小学校24校、中学校12校)	466,564 人 (2016 年度)	500,000 人
	ふれあいセンターでのスポーツ・健康づくりの行事数	162	200



写真左：ときわ公園「世界を旅する植物館」を活用したヨガ体験教室

写真下：民間ゴルフ施設を活用したジュニアゴルフ教室（寄付の活用）



施策③ スポーツに関する意識の向上

[これまでの取組]

- 宇部市スポーツコミッションホームページや SNS 等を通じて、様々な情報発信を行うとともに、報道機関等への情報提供を積極的に行い、多くのメディアに本市の取組が掲載されています。
- オリンピアンやパラリンピアン、プロスポーツ選手等との交流事業を行い、スポーツの素晴らしさが子どもたちも実感でき、スポーツへの興味を高める取組を進めています。
- チャレンジデーにおいてはベストPR賞を連続受賞したほか、オリンピック交流事業など、対外的にアピールできるイベントを数多く実施しています。

[今後の方向性]

- スポーツの魅力や楽しさ、スポーツによる健康増進や健康寿命の延伸等の情報を市民にきめ細かく提供することで、スポーツの好きな人を増やすとともに、スポーツをしていない人への動機づけにつなげていきます。
- チャレンジデーを機に継続的な運動習慣を定着させ、スポーツの大切さを広く周知していきます。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、高まっていくスポーツへの関心を全市的に広げ、スポーツ実施率の向上を図っていきます。

施策③ーア スポーツ情報の充実

●主な取組

- スポーツの大切さ・楽しさ・面白さを宇部市スポーツコミッションホームページやメディアを通じて随時発信していくとともに、ソーシャルネットワークを効果的に活用し、最新のトレンドやニーズの把握に努めます。
- マンスリーチャレンジデーの取組など広く発信し、継続的な運動習慣の定着を促進します。
- ICTを活用したスポーツの魅力向上等の取組を支援していきます。

	項 目	現状値	目標値 (2021年度)
活動指標	宇部市スポーツコミッションホームページ閲覧数 (年度合計)	15,034 件 (2016年度)	20,000 件
	宇部市スポーツコミッションからの情報発信数 (年度合計)	462 件 (2016年度)	800 件
	マンスリーチャレンジデー実施数 (年度合計)	38 プログラム (2016年度)	100 プログラム

施策③ーイ 東京オリンピック・パラリンピック等世界大会を契機とした意識の向上

●主な取組

- 「beyond2020」など、東京オリンピック・パラリンピックを応援するプログラムの認証を促進します。
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機に市民のスポーツへの興味・関心を高め、実践につなげていくため、**オリンピック・パラリンピアンとの交流の場**を創出します。
- 大規模な国際競技大会の事前キャンプや、大会後の滞在による交流の創出に向けた誘致活動を展開します。

活動指標	項目	現状値	目標値 (2021年度)
	東京オリンピック・パラリンピックに関する認証プログラム数(累計)	18件	100件
	身体を動かすことが好きな人の割合	82.5%	90%



写真上：現役パラリンピアンと中学生との交流事業を実施。県内初となる「beyond2020」認証取得

写真下：現役オリンピックと中学生との交流事業を実施。

基本方針2 スポーツによる「元気なまち」づくり

スポーツを通じて、人や地域の交流を活発にすることで、「元気なまち」を創っていくため、④スポーツを通じた交流・ふれあいの促進、⑤魅力あるスポーツ事業の創出の2つの施策により、各種事業を推進していきます。

施策④ スポーツを通じた交流・ふれあいの促進

[これまでの取組]

- 宇部市地域・保健福祉支援チームや宇部市スポーツコミッション等による地域の課題・ニーズ把握やそれらに対応した運動プログラムの提供を行っています。
- 宇部市スポーツ推進委員による市民スポーツ大会の開催等を通じ、校区住民同士の交流はもとより、他校区との交流も進めています。
- くすのきカントリーマラソンや小野湖交流ボート大会など、地域資源を活用したスポーツイベントの開催により交流人口の増加を図っています。
- 市内の4つの山（荒滝山、平原岳、霜降山、日の山）と、4つのダム（厚東川ダム〈小野湖〉、今富ダム、丸山ダム、真締川ダム〈未来湖〉）など、本市の豊かな自然環境を新たな健康づくり・交流の拠点として活用しています。

[今後の方向性]

- 少子高齢化、コミュニティ意識の希薄化など、地域が抱える様々な課題に対し、スポーツを通じた交流により、地域住民の連帯感や一体感を形成し、地域コミュニティの振興につなげていきます。
- 市内の多様な地域資源（自然や食など）を生かしたスポーツイベント等の実施により、地域外の人との交流も創出していきます。

施策④ーア スポーツによる地域づくりの推進

●主な取組

- 地域計画等と連動し、スポーツを通じた地域住民の交流を促進するとともに、子どもや高齢者がスポーツに親しむ環境を整備します。
- 市民スポーツ大会等を開催し、校区間の交流を促進していきます。
- 年齢や障害の有無に関係なく、地域でスポーツを楽しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」の設立や活動を支援します。【再掲】

	項 目	現状値	目標値（2021年度）
活動指標	スポーツコミッション人財バンクを活用したスポーツ・健康づくりイベントへの参加者数	1,810人	4,000人
	市民スポーツ大会参加者数	1,415人	2,000人

施策④ーイ 地域資源を活用した交流の促進

●主な取組

- ▶ くすのきカントリーマラソンや小野湖交流ボート大会など、北部地域の自然環境を生かしたスポーツイベントを定期的に開催します。
- ▶ 街区公園等のプレイパーク化を進め、地域住民が集う場所でのスポーツ交流を促進します。
- ▶ ときわ公園や渡辺翁記念会館など、本市の観光資源を活用したスポーツ・健康づくりを促進します。
- ▶ 地域支援チームや地域おこし協力隊、指定管理者等と連携し、4つの山・4つのダムやアクトビレッジおの等でのスポーツイベントを実施します。

	項 目	現状値	目標値（2021年度）
活動指標	くすのきカントリーマラソン参加者数	1,865人	2,000人
	プレイパークでのプレイリーダーによるプログラム実施数	—	20回

施策⑤ 魅力あるスポーツ事業の創出

[これまでの取組]

- 宇部市スポーツコミッションでは、オリンピックズ協会やオリンピック・パラリンピック等経済界協議会などと連携し、オリンピックやパラリンピアンを招致し、市内の子どもたちとの交流事業を実施しています。
- うべ探検博覧会など、着地型観光としてスポーツツーリズムを実施しています。
- 全国各地から参加者を迎えるくすのきカントリーマラソンを継続的に開催しています。

[今後の方向性]

- 東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、本計画期間中には多くの世界大会が国内で開催され、これまで以上にスポーツに対する市民の興味・関心が高まってきます。このため、オリンピックやパラリンピアンなどトップアスリートを招致し、市民交流の機会を創出していくとともに、本市と縁のある海外都市とのスポーツ交流も進めていきます。
- くすのきカントリーマラソンや、サイクル県やまぐちと連動したサイクルイベントなど、魅力あるスポーツイベントや大規模な競技大会を実施することで、スポーツ参画人口の拡大とスポーツを目的に本市を訪れる人を増やしていきます。
- 本市の観光に関わる各主体を包括的にマネジメントする組織（DMO）と連携し、地域資源とスポーツ、そして観光を掛け合わせた観光を楽しむ「スポーツツーリズム」を推進していきます。

施策⑤ーア 魅力あるスポーツイベントの実施

●主な取組

- オリンピアン・パラリンピアンとの交流事業を実施するとともに、事前キャンプや大会後の滞在による交流の場の創出に向けた誘致活動を実施します。【再掲】
- 姉妹・友好都市やホストタウンなど、海外都市とのスポーツ交流を促進します。
- くすのきカントリーマラソンや、サイクル県やまぐちと連動したサイクルイベントなどを実施します。

	項 目	現状値	目標値（2021年度）
活動指標	海外都市とのスポーツ交流件数	4件	10件
	サイクル県やまぐちと連動したスポーツ交流 機会の創出件数（累計）	—	20件

施策⑤ーイ スポーツツーリズムの推進(DMOとの連携)

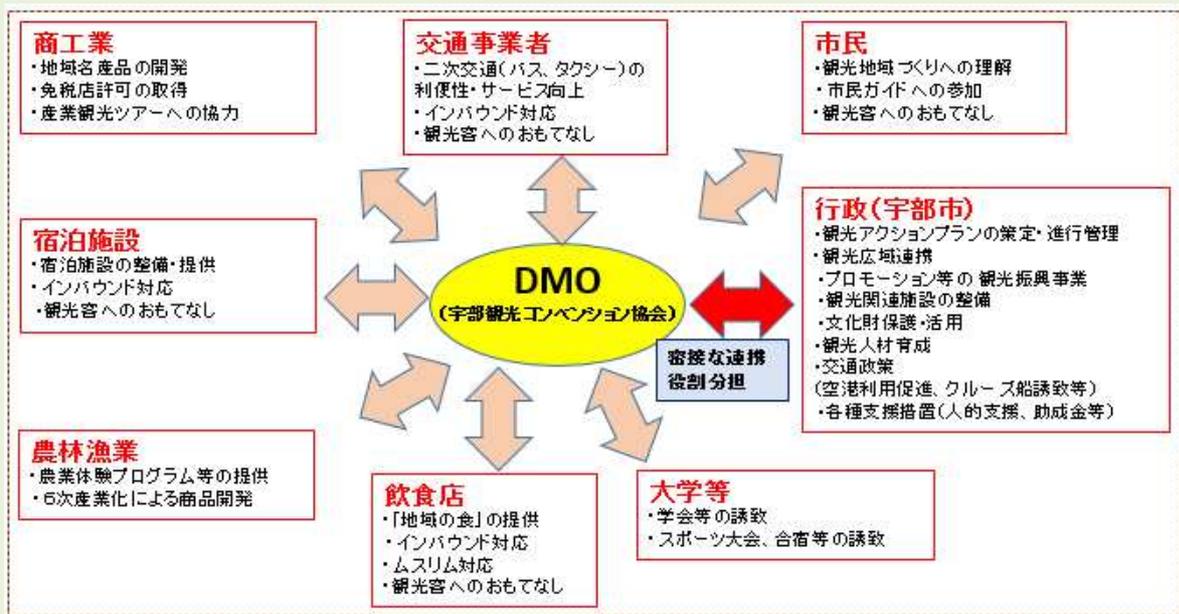
●主な取組

- レノファ山口試合観戦など、スポーツイベントをきっかけに来県した人の本市への誘客につながるツアーメニューを企画します。
- 文化・芸術、食、ICTなど異分野との組み合わせや若い世代のトレンド・ニーズを取り入れた魅力あるスポーツツーリズム、また、共生社会ホストタウンとして、スポーツを取り入れたユニバーサルツーリズムを企画・実施します。
- 大学等のスポーツ合宿や大規模大会を誘致します。

活動指標	項目	現状値	目標値(2021年度)
	スポーツ・ヘルスツーリズム実施数(年間)	7件	15件以上
	中国大会以上の大規模大会の開催数(累計)	15大会	60大会

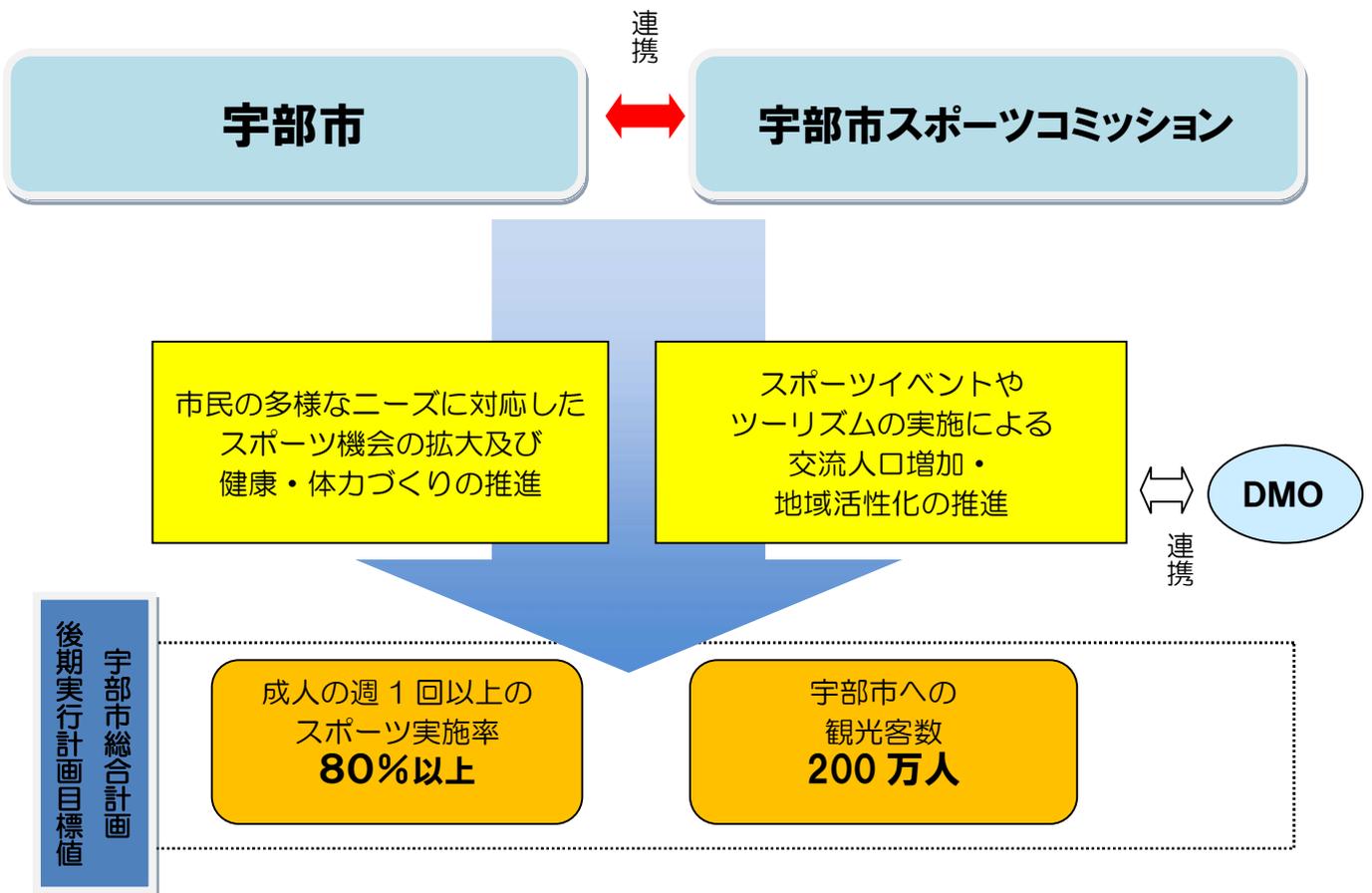
DMO(宇部市)とは

市民・観光関係団体・事業者・行政等のオール宇部市で、観光を産業として拡大していくために、観光に関わる各主体を包括的にマネジメントしながら、観光産業を育成し、地域が観光で「稼げる観光まちづくり」を推進する組織。



2 計画の推進にあたって

本計画の推進にあたっては、宇部市スポーツコミッションと連携・協働しながら進めていくこととします。

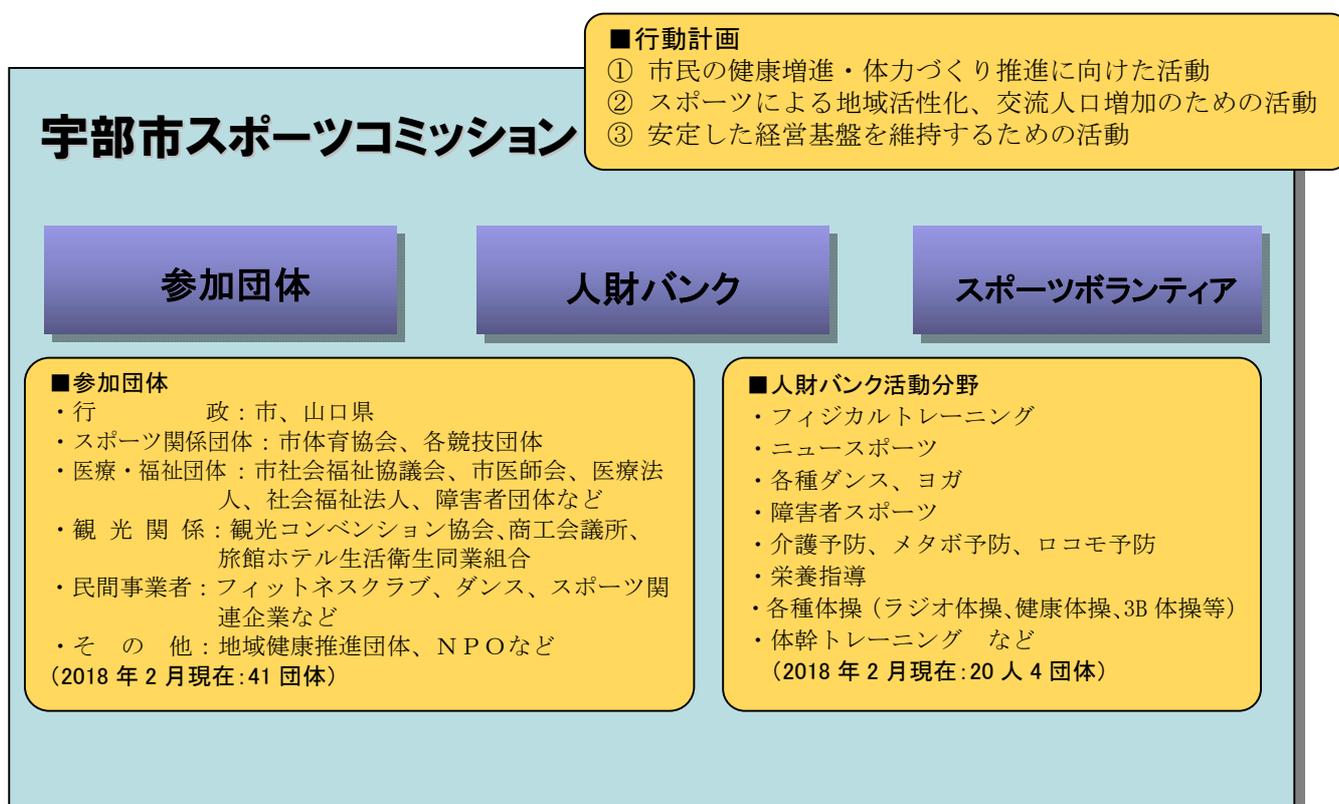


〔宇部市スポーツコミッション〕

市民の多様なニーズに対応したスポーツ機会の拡大及び健康づくり・体力づくりの推進並びにスポーツによる交流人口の増加・地域活性化の推進を目指し、官民連携のネットワーク組織として2014年10月に設立しました。

同コミッションでは、毎年度、行動計画を策定し、参加団体や人財バンク登録者と行政が横断的・有機的に連携し、各活動を推進しています。

2018年度には、一般社団法人として法人格を取得することにより、さらなる活動を推進していくための体制強化を図ります。



問い合わせ先

宇部市 観光・シティプロモーション推進部 文化・スポーツ振興課

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号

TEL 0836-34-8628

FAX 0836-22-6083

E-mail bunspo@city.ube.yamaguchi.jp